

A区分・C区分共通

No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	バレエ
----	----	----	-----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	5企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんざいだんほうじんだにもこ だん 一般財団法人谷桃子バレエ団		団体ウェブサイトURL https://www.tanimomoko-ballet.or.jp
代表者職・氏名	代表理事・田代仁美		
制作団体所在地	〒 158-0083	最寄り駅(バス停)	自由が丘
	東京都世田谷区奥沢5丁目23番20号 バロンズコート自由が丘B1		
電話番号	03-6890-1180		
ふりがな 公演団体名	たにもこ だん 谷桃子バレエ団		団体ウェブサイトURL https://www.tanimomoko-ballet.or.jp
代表者職・氏名	代表理事・田代仁美		
公演団体所在地	〒 158-0083	最寄り駅(バス停)	自由が丘
	東京都世田谷区奥沢5丁目23番20号 バロンズコート自由が丘B1		
制作団体 設立年月	2014年7月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事 理事 理事	田代仁美 島貫宏昌 高部尚子	(団体構成員) 団員:150名 団教師:11名、総務・制作:5名 (加入条件)一般公募入団テストにより団幹部が協議、選考する。
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	三木雄馬
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	今井亮太
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	miki@tanimomoko-ballet.or.jp		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>1949(昭和24)年、東京バレエ団のプリマバレリーナとして活躍していた谷桃子が独立し、谷桃子バレエ団を創立。 1997(平成9)年8月4日有限会社谷桃子バレエ団研究所として設立現在に至る。 創立以来、毎年のように自主公演を続け、2009年及び10年には創立60周年記念として、古典と創作による6作品の公演を行い、「レ・ミゼラブル」に対し第65回文化庁芸術祭大賞が授与された。 2014(平成26)年7月1日一般財団法人谷桃子バレエ団を設立。団の芸術活動及び古典、創作を含むクラシックバレエの普及を目的とし、近年ではDREAM PROJECTと称して全国の子供たちが本物のバレエに触れながら劇場での公演に参加する場所を提供し、育成にも意欲的に取り組んでいる。 「主な受賞歴」 1984年 ローザンヌ国際コンクール ローザンヌ賞 高部尚子 1988年 音楽新聞 村松賞 高部尚子 1990年 芸術選奨文部大臣 新人賞 高部尚子 1992年 グローバル森下洋子、清水哲太郎賞 高部尚子 日本バレエ協会 服部千恵子賞 高部尚子 1995年 橘秋子賞 高部尚子 2010年 文化庁芸術祭賞 舞踊部門 大賞 「LesMiserable」</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)B区分 令和元年～令和3年度 令和3年度 ・子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業 令和4年度 ・文化芸術による子供育成推進事業(巡回公演事業)A,C区分 ・文化芸術による子供育成推進事業(芸術家派遣事業) ・文化芸術による子供育成推進事業 子供のための芸術鑑賞・体験再興事業 令和4年度 ・文化芸術による子供育成推進事業 文化施設等活用事業 ・子供を笑顔にするプロジェクト 東京都内学校 全9校 令和5年度 ・舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)B,C区分 ・笑顔と学びの体験活動プロジェクト 東京都内 全9校 令和6年度 ・舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)A,B,C区分 ・笑顔と学びの体験活動プロジェクト 東京都内 全6校 			
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年10月29日 沖縄県西崎養護学校 ・平成21年10月23日 徳島県立豊学校 ・平成23年10月13日 滋賀県立草津養護学校 ・平成24年10月15日 富山県立富山聴覚総合支援学校 ・平成29年11月16日 埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園 ・令和6年度 東京都立田無特別支援学校 ・令和6年度 東京都立白鷺特別支援学校 ・令和6年度 福島大学附属特別支援学校 ※本年11月実施予定 			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://vimeo.com/449191063?share=copy</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>	<p>TMB_R7</p>	

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 谷桃子バレエ団】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	眠れる森の美女で宮廷入門～いろんなステップを楽しもう～			
企画のねらい	バレエと言うとどこか近寄りにくい芸術のイメージを持つ児童生徒が多い中、音楽の授業でも学ぶ機会もあり、映画にもなっている眠れる森の美女を選び、様々なステップを一緒に楽しみます。本企画は共演シーンをメインに構成しており、その為に事前のWSにおいて、児童生徒との距離を近づけ、教職員と一緒にコミュニケーションを取りながらバレエならではの色々なステップを体験してもらいます。芸術は見て楽しみ、体験して楽しみ、周りの人たちと作り上げていくものとして知ってもらい、さらに仲間たちとの共同作業でワンシーンを生み出すことの達成感を知り、一人では成し得ないことも協力し合い達成できるという事を芸術を通して実感してもらおうことを目的としています。			
演目概要・演目選択理由	演目選択理由:上記重複する部分もありますが、音楽の時間に学んだり街中で耳にすることもある有名な楽曲を選び、音楽とバレエの一体感を表現でき、かつ耳なじみがあるから見やすいということを見出し児童生徒の目線で考え選択しました。 演目概要:2部構成【第1部:”体験と実演”】司会者が分かりやすくバレエの歴史や作曲家チャイコフスキーとバレエの関係を伝えます(共演内容)・バレエの基本動作・言葉を使わない”マイム”・男性が女性と踊る”パドゥ”にてサポート 【第2部:眠れる森の美女で宮廷入門～いろんなステップを楽しもう～】ストーリー解説つき。 第3幕の宮廷シーンを抜粋して上演し、一緒に様々なバレエステップで共演します。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	公演後の記念撮影、事前希望者を募りバレエメイク体験を行います。 第1部ではプロのダンサーとペアでのマイム体験(お芝居)、サポートにて共演してもらいます。 司会者が分かりやすく解説し、地元の言葉を使ったアレンジなども行います。 児童たちは観客でありながら、体験、共演を多く取り入れ、一つの作品を一緒に創り上げる経験が出来ます。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	30名	
		鑑賞人数目安	500名または体育館の収容人数に順じます	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【第1部:体験と実演】 バレエの基本的な歴史や用語を伝えながら、普段バレリーナがどのようなトレーニングをバレエダンサーが行っているのか?聞いたことはあるけどパドゥって何?マイムって何?といったことを解説しながら実演し、実際に体験していきます。 【第2部:眠れる森の美女で宮廷入門～いろんなステップを楽しもう～】 第3幕の宮廷シーンを上演し、様々なステップで児童生徒と共演します。 作曲:ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー 脚本/演出/振付:高部尚子 振付助手:三木雄馬/斉藤加津代 バレエミストレス:斉藤加津代/圓札菜由 バレエマスター:今井智也/三木雄馬			
出演者	出演者9名 ※別添「キャスト表」参照			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	・高部尚子「芸術監督」ローザンヌ国際バレエコンクールローザンヌ賞受賞ほか、多数の受賞歴あり ・三木雄馬「プリシパル」ロシア国立アカデミックバレエにて活動後帰国、多ジャンルと共演を積極的に取り組む。全日本バレエコンクール 第1位文部科学大臣奨励賞、舞踊批評家協会新人賞等 ・斉藤加津代「バレエミストレス」入団後全レパートリーに出演、現在谷桃子バレエ団ユースチーフ講師、セカンドカンパニー講師、バレエミストレス			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 9 名	運搬	積載量:	1,25 t
	スタッフ: 8 名		車長:	5,2 m
	合計: 17 名		台数:	1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		有		前日仕込み所要時間		4		時間程度			
	到着		仕込み		上演		内休憩		撤去		退出	
	9:00		9:00～12:30		13:30～15:00		10		～16:30		16時30分	
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。											
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月		7月		8月		9月		10月		11月	
	5日		10日		12月		1月		15日		5日	
	10月		11月		15日		計		75日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						計		75日			
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) ※採択決定後、図面等の提出をお願いします。												
												
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当なし		該当コンテンツ名							
	該当事項がある場合		権利者名		許諾確認状況							

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり
----	----

【公演団体名 谷桃子バレエ団 】

ワークショップのねらい	芸術文化と言われると、少し身構えてしまう児童生徒も多いのが実際で、それ自体は芸術を認識している証拠でもあり、とても良いことなのですが、それだけではなかなか鑑賞しても楽しめるようになるまで時間がかかってしまいます。ワークショップで、基本的なことを覚え、ゲーム感覚で楽しみながら一緒に体験することで身構えてしまう距離感を取り除き、「興味」に変化させることが狙いです。また、学校側と話し合った上で、出来る限りワークショップから本公演までの期間が空かないようお願いしており、新しく芽生えた「興味」がさらに膨らみ、早く観たいとなっているタイミングで本公演を体験鑑賞することでより効果が期待できると考えています。今後の児童生徒の成長の中で、文化芸術に対するファーストインスピレーションに「興味」の部分が大きくなっていくことも目的としています。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	体育館の収容人数 または 150～200名
ワークショップ実施形態及び内容	<p>ワークショップではバレエの基本の型と簡単なマイム(お芝居)を覚えて、体を動かしながら体験してもらいます。</p> <p>実施場所は体育館、又は児童が体験するのに十分なスペースが取れるエリアで行っています。床に座ることもあるので、屋外など天候に左右される場所での実施は理由を説明して、遠慮させていただきます。</p> <p>最初にバレエを経験したことがあるか？観たことはあるか？といった部分から、身近のどのような文化や競技にバレエが関わっているのかを知ってもらいます。</p> <p>次に体育でもやるようなストレッチを行います。ここにバレエのストレッチを織り交ぜて短い時間で起きる体の変化を体験してもらいます。</p> <p>そこから、バレエの基本の足の「型」と手の「型」を教えて児童と一緒に音楽に合わせて振付をし、実際にバレエのレッスンを一緒に行います。</p> <p>チームに分かれてゲーム的な要素、音楽カウントの数え方などを織り交ぜながら、楽しんで学習と体験ができる内容となっています。</p> <p>また、本公演で「共演」する際のベース部分もワークショップで学習するので、本公演までに児童生徒が復習しながら想像を膨らませて楽しみに待てるようになっていきます。</p> <p>実施時間は基本的に小学校45分、中学校50分の1時限分の時間となっています。</p> <p>実施対象は本公演を鑑賞する児童生徒全員を推奨しています。広さ等の都合で学年を選ばなければならない場合には本公演で「共演」を予定している学年に受けてもらうことが効果的になります。</p> <p>さらに、ワークショップ時に本公演の演目に関わる楽曲をCDで学校に教材として提供しており、音楽の時間や、給食時間中などの放送の時間で活用してもらい、音楽に慣れていきながら、同時にどのような踊りなのか想像を膨らませられるように子供の「イメージする力」を引き出された状態で本公演の体験鑑賞に繋がるように工夫しています。</p> <p>ワークショップ時に本公演の※パンフレットを見ていただけるように準備を早めて作成しており、その中にはワークショップで学んだ基本の「型」やマイムが復習できるように掲載していますので、ワークショップ後に体験した児童生徒に改めて見ておいてもらうようにアナウンスをお願いしています。</p> <p>※別添「パンフレット」参照</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>実施内容にも記載のように、床に座ることや、体を動かします。</p> <p>その為、服装に関してスカートではなくパンツスタイルでの体験をお願いします。</p> <p>また、こちらのワークショップでは教職員の先生もぜひ一緒に参加して体験していただくことを推奨しています。</p> <p>その際に児童の変化を見ていただき、児童生徒のワークショップ後の様子を本公演時までの準備のやり取りで教えていただくと、本公演での体験内容を児童生徒に合わせてアレンジすることも出来るため、協力をお願いしています。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

谷桃子バレエ団

】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 日本全国の、様々な環境で生活する児童生徒に、等しく舞台芸術に出会う機会となること。舞台芸術に関わるスタッフや出演者に直に接することで、いろいろな立場で技術を習得した専門家が集まって一つの作品を作っていることなどを実感して頂き、舞台芸術への興味を広げてもらうきっかけとなることを目標とし、体験できる人数、鑑賞人数(設営見学含む)を安全に十分に注意をしながら行っています。</p> <p>また、舞台芸術を鑑賞することにより得られる感動や喜び、ハラハラする緊張感や物語の想像など、子どもたちの情操に働きかける公演となるよう心がけワークショップから一貫性のある内容で実施しています。</p> <p>自ら劇場へ出かけて鑑賞するのみでは無く、舞台芸術に関わる仕事を一つの可能性として捉えてもらうことにより、新しい夢が生まれ、それがさらに舞台芸術の発展につながるよう考えています。</p> <p>更に、生徒数が少ないなど開催校の状況によっては各地域の方々にも本公演の観賞にご参加頂けるよう促し、児童生徒と一緒に舞台芸術に触れて頂きながら、芸術文化の価値や重要性について広くご理解頂けるよう務めています。</p> <p>児童生徒のなかには、地域柄自ら劇場へ足を運ぶことはないんじゃないか?と考える人がいらっしゃるかもしれない、成長された際にたとえ子どもの頃であったとしても‘バレエを観たことがある’と言える大切な思い出となる”消えない心の宝物”となるように、接し方にも注意を払っています。バレエ団としても子どもたちの率直な反応を通して、人との繋がりを感じ、心を豊かにすることを目的として取り組み続けたいと考えております。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 本事業の「ワークショップ」と「本公演」の2段階構成となる実施の特性を活かすためにも、ワークショップの参加者が本公演を体験鑑賞することで、より効果をもたらすことを各学校に丁寧に説明しています。実施の流れとしまして、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①実施校決定後に御挨拶と今後の流れの御案内の送付 ②WS1ヶ月前にワークショップの案内用紙の送付 ③ワークショップ時にCD提供(音楽学習用)パンフレット配布(復習学習可能となる内容) ④本公演 ⑤御礼状と記念写真の送付 <p>という流れを組んでいます。</p> <p>上記の説明を、担当校の決定時と、ワークショップの1ヶ月前にご案内させていただき、初めて本事業を実施する学校であってもワークショップまでに事前に行える打ち合わせを終えておくことで、本公演に向けて学校と団体が共に児童生徒への効果をイメージして取り組みやすいように準備しています。</p> <p>また、学校から質問があった際にはe-mailと電話連絡のどちらでも対応できるようにしています。</p>
--	---

別添	なし
----	----

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

谷桃子バレエ団

】

C区分で事業を実施するに当たっての工夫	<p>①離島・へき地等における公演実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術による子供育成総合事業 C区分 令和3年度 ※九州、岡山、沖縄 地域 ・文化芸術による子供育成推進事業 C区分 令和4年度 ※京都、北関東、東北 地域 ・舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 令和5年度 ※北関東、東京(離島) ・舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 令和6年度 ※北関東 <p>②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <p>出演者は様々な場所での公演に適応できるダンサーのみで構成することにより、バレエで問題視される、“床が滑る””凸凹している”等の悪条件であったとしても対応できる。 また解説司会者を入れることにより、ハイライト上演時に必要な重要な役どころを経験豊富なダンサーが早着替えて衣裳を変え入れ替わり登場出来るようにしている。(少人数による質の低下が起きないように)</p> <p>その他、事前にワークショップで来校することが難しい場合であっても公演の実施において学校側に過度な負担が起きないように、要求する点を最小限に抑え、直前までイメージが湧かないで不安という事が起きてしまわないように、出来る限り過去実施時の資料を学校側に見ていただくように準備している。イレギュラー対応として昨年度の例では、離島の特殊な条件で予定していた実施日の変更を余儀なくされた際、学校側と話し合い、事前にヒアリング学習としてオンラインで簡単なバレエクチャーを行い、実施までの期間が空いてしまったことによって懸念される共に芸術を体験し楽しもう！という心の距離感を保つ工夫も行った。 ※離島や僻地であれば当然想定される出来事の一つであることから、当然ですが追加費用は発生していません。 また、少人数編成でフルに全員が出演し続けることから通常時の公演よりも体力の消耗が激しい。A,B区分では経費を抑えるため出演者がバラシ作業などの役割も兼任していたが、C区分では怪我等のリスクを抑えるため、専任スタッフが行うものとして安全を確保して公演にあたる。</p>
	<p>③C区分応募における、費用面の工夫</p> <p>小規模公演として見やすく、様々な場所に移動でき、かつ経費を削減するために、大がかりな舞台装置を使用しないようにして舞台経費を削減している。 また、陸路で移動可能なエリアに関しては1台のハイエースに機材を積載することで、派遣費を削減。特に演出効果上でどうしても照明が必要になる演出というものは行わず、通常の体育館の形態で鑑賞に問題が起きない構成演出としています。 その他にも特殊な事情で、移動が困難な地域には当日にワークショップを同時開催することで派遣費を削減することを可能としています。 またレベルの高いキャスト、スタッフでを派遣することで人数を減らすことが実現しており、単純に費用を抑えるのではなく、質の高い公演が実施可能となる。</p>

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.2 【公演団体名 谷桃子バレエ団】

キャスト表

1	日原永美子	26	佐藤 舞	51	清水豊弘	76	大黒秀香
2	齊藤加津代	27	白井成奈	52	飯田 嵐	77	高橋夏海
3	圓礼茉由	28	手塚歩美	53	北浦瑠人	78	武田 空
4	岩上 純	29	石川真悠	54	安田 幹	79	村上桜子
5	齊藤 拓	30	大塚アリス	55	児玉光希	80	若松祐花
6	永橋あゆみ	31	土井翔也人	56	田淵玲央奈	81	渡辺咲良
7	今井智也	32	高井景介	57	中山雄介	82	松田華奈
8	三木雄馬	33	池澤嘉政	58	二村康哉	83	宮原 綾
9	齊藤 耀	34	昂師史功	59	上北菜摘	84	井川こころ
10	加藤未希	35	松尾力滝	60	生武 絢	85	尾島結子
11	馳 麻弥	36	高谷 遼	61	大貫千尋	86	梶原麗奈
12	山口緋奈子	37	島倉花奈	62	佐藤愛菜	87	齋藤 舞
13	前原愛里佳	38	渡部 栞	63	近藤璃李子	88	関根珠希
14	永井裕美	39	轟田紗季	64	種村香音	89	高藤帆花
15	森本悠香	40	高谷麗美	65	久富礼子	90	辻 萌奈
16	北浦児依	41	石森さくら	66	森田風花		
17	森岡 恋	42	梶原芽衣	67	奥山紗季子		ピアニスト
18	市橋万樹	43	井藤七菜	68	今西由紀		稲葉智子
19	田村幸弘	44	渡邊桜子	69	伊藤百花		
20	森脇崇行	45	永倉 凜	70	川名佑芽		
21	新井 望	46	野田莉緒	71	倉田美帆		
22	石井潤太郎	47	巻田恵瑠	72	小林杏奈		
23	種井祥子	48	齊藤綾乃	73	佐生さくら		
24	木下七海	49	鈴木利沙	74	篠原礼奈		
25	古澤可歩子	50	新井ひな子	75	鈴木菜花		

キャスト表

※本リストに記載のあるメンバーから選抜いたします。

※新年度の新入団員によって変動する場合があります。

令和6年9月現在

